



八峰町3月議会定例会

町長の行政報告をお知らせします

八峰町3月議会定例会が1日から15日までの会期で開かれ、町長の行政報告や一般質問、当初予算、補正予算の議案審議などが行われました。町長の行政報告の中から主なものをお知らせします。

八峰町消防出初式を開催 今年の無火災を誓う

1月5日、八峰町消防出初め式を開催しました。
式典に先立ち、沢目駅前において、消防団員144名とポンプ車など15台による堂々の分列行進が披露され、その後、峰浜地区文化交流センター「峰栄館」において式典を行い、長年におわたって消防活動にご尽力された団員の方々の表彰を行うとともに、全員で今年の無火災を誓いました。まだまだ暖房器具等を使用する季節ですので、消防団や消防署など関係機関と連携して火災予防運動を実施してまいります。

町長と語る会

各自治会で開催

この事業は、私の公約の一つであり、かつて経験したことのない高齢化と人口減少社会の到来を見据え、住み慣れたところで暮らしていくための地域コミュニティを維持するための方策や地域の課題について、住民の皆様と率直な意見交換を行うことを目的として開催しているものです。
事業の皮切りとして1月27日、漁火の館において岩館第2自治会との「語る会」を開催しました。当日は、「語る会」に先駆けて自治会総会が開催されたこともあり、65名もの住民の皆様にご参加いただき、関心の高さを感じることができました。

その後も、2月3日には八森第3自治会、2月10日には水沢上町内会、2月22日には沼田自治会で「語る会」を開催しております。
「語る会」の中では、通院や買い物に難儀をされている交通弱者対策に対する意見、猿害対策の強力な推進を求める意見、分収林を含めた森林施業の推進と森林管理の効率化を求める意見、長年要望を続けてきた町道改良を求める意見、空家対策に対する意見など、住民の皆様から直接ご意見を頂けると貴重な機会であり、今後も各自治会との「語る会」開催に向けて努力していくとともに、頂いたご意見に対しては、誠実に対応し施策に反映させるよう努めてまいります。



「防災まちづくり室」を新たに設置 体制強化を図る

近年、大雨、台風、地震などにより大規模な災害が発生し、秋田県においても洪水による河川氾濫などの災害が発生しております。このような中、気象警報などの発表により町内においても災害対策連絡部の設置などその対応が増加傾向にあります。また、自治会や地域住民の方々などから様々な要望、問い合わせをいただいておりますが、所管課が異なることなどの理由でご不便をおかけしている現状も見られております。

これらのことから、4月から消防、防災、空き家対策及び交通安全対応、地域等からの要望事項を所掌する「防災まちづくり室」を総務課内に設置し、体制強化を図りたいと考えております。

秋田県飲酒運転追放競争23位 気持ち新たに飲酒運転撲滅へ

1月8日、八峰町交通指導隊出隊式を役場において開催しました。

昨年の秋田県飲酒運転等居住別実態調査においては、2件の酒気帯び運転の他、一昨年に続き1件の死亡事故が発生しており、25市町村中23位と前年の22位からさらに順位を下げた結果となりました。今年は気持ちを新たに、交通関係各位のご協力の下、飲酒運転の撲滅や交通死亡事故ゼロの継続に向けた取り組みを強化するとともに、啓発活動などに努めてまいります。

3月議会定例会に 提出した主な議案

- 八峰町手数料条例の一部を改正する条例制定について
- 八峰町道路占用徴収条例の一部を改正する条例制定について
- 八峰町分収造林条例の一部を改正する条例制定について
- 八峰町介護保険条例の一部を改正する条例制定について
- 八峰町空き家等の適正管理に関する条例の一部を改正する条例制定について
- 平成30年度一般会計補正予算8千790万7千円を減額追加した主な歳出
産地パワーアップ事業、担い手確保・経営強化支援事業等の農業関係補助金、林道塙線改良工事など
- 平成31年度八峰町一般会計及び各特別会計予算
※内訳は2〜3ページ参照

町の平成31年度米の生産の目安 生産数量は前年から20トン減

県では県産米の価格の安定を図るため、昨年に引き続き平成31年度米においても県段階の「生産の目安」を提示することとし、昨年12月6日、秋田県農業再生協議会臨時総会を開催、県全体の生産の目安を「40万7千トン」とすることを決定し公表・通知がされております。

この通知を受け、町では昨年11月13日の農業再生協議会臨時総会で決定された取組方針に基づき、町の「生産の目安」を算定したところです。その結果を受けて、2月4日に開催された臨時総会で「生産の目安」が協議され、町全体の生産数量は昨年より20トン少ない6千49トンに、面積換算では昨年より4ヘクタール少ない1千61ヘクタールとする目安が決定されました。協議会では、方針作成者ごとの「生産の目安」を算定し、2月18日協議会長名で各方針作成者へ通知したところです。

今後は、「需要に応じた米生産の実施」に向けた取り組みとして、各方針作成者の販売計画数量及び事前契約数量の把握に努め、需要の裏付けのない米については、加工用米等の非主食用米へ振り分けるよう指導するなど、米価安定のための取り組みを国や県と連携しながら進めてまいります。

また、農業再生協議会では、2月27日に開催した農事班長会議で、「生産の目安」の算定方法などについて説明し、作付確認野帳等関係資料を各農家

に配付しました。

八峰町スポーツ文化栄誉賞 今後さらなる活躍を

2月23日ファガス文化ホールにおいて、授与式を開催しました。
今年度は、スポーツ部門で、17個人、1団体に、文化部門で、20個人、1団体に授与しました。

今年も一般の該当者はなく、すべて小学生から大学生までの受賞となり、スポーツ部門では、ラクビー、野球、空手、バスケットボール、陸上競技が、文化部門では、俳句での活躍が目立ちました。

受賞された皆様には、心からお祝い申し上げますとともに今後のさらなる活躍を期待しています。

八峰白神ジオパーク再認定 今後はより安定的な運営を

昨年の12月議会定例会においてもご報告いたしました。八峰白神ジオパークは、平成28年度の再認定審査の際に2年間の「条件付き認定」を受けたことから、昨年の11月に再認定審査を受け、今年1月に審査結果が発表されることになっていました。

そして、今年1月18日、庁舎会議室で、私を始め、協議会事務局員や運営委員会メンバーなど関係者が吉報を待ちわびていた中、日本ジオパーク委員会の中田節也委員長から、当ジオパーク推進協議会の辻会長へ電話があり、

